

「ヴォーリズ六甲山荘物語」があとわずかで上梓されます。とてもいい仕上がりになりそうです。楽しみにお待ちください。ワーキングホリデーの学生スタッフとの打ち合わせも進んでいます。気持ちのいい方たちで、いよいよ楽しみです。

**お知らせ**

- ・アメニティ・アカデミー「ヴォーリズ建築再見」7月14日(土) ヴォーリズ六甲山荘(すでに定員に達しました)
- ・ワーキングホリデー支援コンサート 7月21日(土) 芦屋仏教会館
- ・神戸ワーキングホリデー2012 7月30日(月)～8月2日(木)(3泊4日) ヴォーリズ六甲山荘
- ・益子陶芸作品展示即売会 9月1日(土)～3日(月) 草志舎

**【コラム】****『東日本大震災共生プログラム「神戸ワーキングホリデー」**

前田 豊稔

2012年7月30日(月)～8月2日(木)

福島若者(6名)を招いてヴォーリズ六甲山荘での3泊4日の交流会

地震、津波、そして未だ収まりきらない原発事故の被災地、福島県立双葉高校から4名(3年生)の女子高校生といわき明星大学から2名(4年生)の女子大学生(計6名)を、今年のワーキングホリデーに招待しました。

- 受け入れは、神戸の若者たち(プロジェクトチーム)の手作り交流プログラムで！  
若者たちが協力し合って、ベンガラ塗りの協同作業や交流会づくりができるように、我々はできるだけ控えて、支援体勢を固めます。
- 神戸の若者チームの活動がいよいよスタート！ 求む、多くの若者！  
関西学院大学、神戸女学院大学、神戸大学、甲南女子大学、京都大学の学生を中心に編成したボランティアグループで、計画を立てたり実行していきっていきます。その上に、甲南女子高校(2名)と啓明学院高校(女子4名)の高校生の参加もあるのです。しかし、協同作業や交流会にはもっと多くのスタッフが必要です、多い方が楽しいことでしょう。是非、皆様方のお知り合いの若者にも、参加を呼びかけてください。一日でも半日でもよいのです。我々のヴォーリズ六甲山荘に、愛すべき若者たちの声と笑顔で満たされることは、なんと愉快的なことではありませんか。
- 被災地支援コンサートへの参加と寄付を！  
旅費、滞在費、交流費など、60万円ほどの予算が必要です。皆様方のご協力をお願いします。会の総力を挙げて、是非とも成功させようではありませんか。
- 私たちの被災体験とともに！  
この企画は、福島原発立地に暮らす若者たちのためのものですが、決してそれだけに留まるものではないと考えています。神戸の若者たち、そして私たち自身にとって、改めて我々の震災をみつめ直す好機になることでしょう。確かに、私たちはあの時強く実感し、心から誓ったことがあったのですから。

**神戸ワーキングホリデー2012について～～寄付のお願い**

コラム欄で実行委員長の前田豊稔さんが書いておられるように、この夏六甲山荘ではワーキングホリデーを開催します。この実施にあたっては多額の費用が必要です。特にいわき市に住む6名の学生の往復旅費、10名以上の地元学生をふくめた総勢20人余りの活動費などが大きくかかります。この活動をささえるご寄付をお願いいたします。

送金先 郵便局振替口座 00950-5-36168 名義 特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会  
**「教育基金」**と明記ください。

2年前のワーキングホリデーはなかなかの力仕事でしたが、充実したやりがいのある内容で、アメニティ 2000 協会ならではの会員の力が遺憾なく発揮された活動でした。今回も同様に皆さんの力で成功させたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。

## 予告1

## マリンバ with ピアノ コンサート

気鋭のパーカッション奏者安永早絵子さんがマリンバやほかの打楽器を駆使してパーカッションの楽しさを満喫させてくれます。芦屋の名建築にひびく豊かで楽しいハーモニーをお楽しみください。このコンサートの収益は7月末に開催される神戸ワーキングホリデー（東日本大震災の被災学生を招待します）の実施費用に充てられます。

120席のうち現在70枚ほど予約がはいっています。お席はまだ残っています。どうぞお誘いあわせておいでください。

**日時** 2012年7月21日（土）午後2時開演（1時半開場）

**場所** 芦屋仏教会館

**出演** 安永早絵子（打楽器奏者） 城村奈都子（ピアノ伴奏）

**参加費** 会員 1,500円 一般 2,000円 定員 120名（要予約）

## 「ヴォーリス六甲山荘物語」

### いよいよ刊行です！

お待たせしましたが、待望の本がまもなくできあがります。これさえ読めばだれでも六甲山荘通！ご自分に1冊、お友達にもプレゼント、どうぞお求めください。

会員価格 800円  
発送も可能です。

## ご報告1 2012年度総会、交流会 6月2日（土） 草志舎

参加者と委任状で定足数を満たし、総会はずべての議案を承認して無事終了しました。交流会では持ち寄りの料理をいただきながら、話しに花が咲き、展示された作品にも一同おおいに感心しました。



## ご報告2 アメニティ・アカデミー「ヴォーリス建築再見」6月9日（土） 大阪教会

レンガ造りの美しい教会を、中から外から歴史からとじっくり味わうセミナーでした。大阪の街中で戦火もくぐりぬけ、時代の要請も少しずつ受け入れながら、現在も現役で人々の集まりやすさぐ場所となっていることに感動しました。



## ご報告3 英国ナショナル・トラストの旅 6月10日～19日 スコットランド

すばらしい旅でした。スコットランド・ナショナル・トラストのプロパティ10ヶ所以外にも景勝地や歴史を語る古城などを訪問し、美しい自然とイングランドとの軋轢を繰り返した歴史も学んできました。またエジンバラではトラストの職員の方と会って、トラストの現状などについてお話を伺いました。スコットランド・ナショナル・トラストでも来場者の対応、庭や建物のメンテナンス等に手弁当のボランティアが大活躍しており、運営はボランティアなしでは成り立たないと力説されたのが印象的でした。



## 予告1

## 益子陶芸作品展～東日本大震災共生プロジェクト

栃木県にある益子参考館はこの度の震災で大きな被害を受け、その修復には8千万円かかると予想されています。そこで私たちは東日本大震災共生プロジェクトの一つとして、陶芸作品展を開催することとしました。

これは益子の陶芸作家たちが作品を寄付し、その作品を売ったお金を参考館に寄付するものです。作品は食器類がおもで、市価よりお安く提供出来る予定です。どうぞこの機会に益子焼きの作品をお求めください。

詳しくは後日ご案内いたします。

**月日** 9月1日（土）～3日（月） **場所** 草志舎

### \* 濱田庄司と益子参考館

濱田庄司は柳宗悦、バーナード・リーチなどと共に日本の民芸に光をあてる運動を展開した陶芸家。人間国宝。その邸宅を記念館として濱田の作品や彼の収集した国内外の民芸作品を展示している。

《お薦めの本》

劇画「死線を越えて 賀川豊彦がめざした愛の協同の社会」

村山 多紀子

私はコープ委員もしています。そこで賀川豊彦の名前を時々耳にしていました。どういう人かということはこの本で知りました。こんなにすばらしい人だったのかと感動しました。兵庫県の高齢者の人は結構よくご存知でしょうが、県外の人や今の若い人は知らない人が多いと思います。

神戸の裕福な家に生れ、幼くして父母に死に別れ、貧しくきびしい生活を強いられ、21歳で結核で一命を取りとめている。貧しい人のため何をすべきかを考え、身を捨て、自分の財産や収入を使い、それらの人々のために実行していく。生協、農協、漁協、医療協などを次々と創始していく。その時、その時にその当時の人々のつながり、援助がすばらしい。平和運動を逮捕されながらも屈せず続けた。ノーベル賞候補に2度も、日本からではなく世界からおされている。今の政治家にこのような人がいたら日本はもっと良くなるのではないかな。

小学4年生位から若い人にも是非読んでほしいですね。

(社団法人家の光協会)

<次回は奥田猛さんをお願いします>

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

「ヴォーリズ建築再見」セミナーに参加して

毛利 綾子

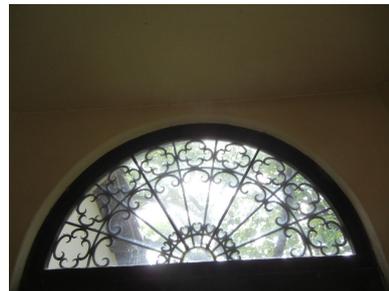
時を重ねた建物は、その時代の息吹が感じられ、何より設計者の意匠を凝らした外観・内部に魅せられます。見た目シンプル、だが細部への心配りとさりげない巧みさが在り、それを見つけ感嘆させられる嬉しさ。昨年初めて行った六甲山荘も然りです。

今回のセミナーは、その分野第一人者の先生方が丁寧に解説して下さい、ヴォーリズ建築に接する楽しさも伝わって来、益々引き込まれていきます。

第2回は神戸女学院。室内講義で図面、スライドで前知識を得たのですが、その中で学生の将来をも見据えた「設計者の言葉」に驚ろかされました。「～最も重要な機能の一つは、永年の間に人々の心の内部に洗練された趣味と共に美の観念を啓発する事～」そう！「建物」で学生達への情操教育を願っていたのですね。彼の人間性を見た思いです。

その後校内を巡りながらの解説。資料片手での見学は理解し易く、しばし地中海様式等の建物を満喫しました。ロータアイアンの話では、戦時中鉄の供出で失った所に、ベニヤ板で本物と見まがう程の元の形と色に作りあげ、見事嵌め込んだ学校側の心意気！（こだわり？）。建物は勿論、使う側にもヴォーリズが精神が隅々まで行き亘った、爽やかなキャンパスでした。

これからのセミナーも楽しみに受講したいと思います。



ベニヤ板で作られた細工（まったく見分けがつかない）

六甲山荘たより

6月の六甲山荘

6月ともなるとさすがにストーブはいらなくなります。庭にはいろいろな花が咲き、お客さまを迎えてくれます。今年には六甲摩耶鉄道の主催するエコツアー（六甲山上の近代化産業遺産・六甲山荘、ケーブル山上駅、六甲山ホテル、神戸ゴルフ倶楽部クラブハウスをまわるツアー）の参加者が多く、土曜日ごとににぎやかです。スタッフの皆さん、ありがとうございます。

なお華道小原流の会員誌「小原流挿花」7月号に六甲山荘を舞台にした生花の写真が掲載されています。部屋とお花がマッチしたすてきな写真です。機会があればご覧ください。



募金のご報告～～5月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

\* 六甲山荘ナショナル・トラスト募金

《5月合計 48,000円 2012年度累計 81,400円》

\* 一般寄付

110,000円

一般寄付を合せて2012年度寄付金総額

306,800円

**画板、あります**  
**六甲山荘でスケッチはいかが**

昨年の親子写生会を企画して下さった前田豊稔さんが画板を寄付してくださいました。山荘においであります。緑あふれる庭や、落ち着いた室内で、ちょっとスケッチでも、と思われたら、スタッフにおっしゃってください。きっと名作がうまれますよ。

**ボロ布を求む!**

ワーキングホリデーでベンガラ塗りをしますが、拭き込みにボロ布が大量に必要です。タオルではケバがひっかかって使えません。着古した T シャツなどが一番だそうです。そういう布がありましたら、ご寄付ください。適当な大きさに切っていただけるとなお有り難いです。

送り先 659-0043 芦屋市潮見町 5-8-3 清水順子

**ヴォーリズ六甲山荘の花～シソバタツナミソウ**

漢字は「紫蘇葉立浪草」と書きます。葉が紫蘇に似ていて、花の形を波頭に見立てているのです。紫の小さな花が地面に近く咲いています。アプローチのあたりで見かけるようです。ぜひ探してみてください。



写真・岡本正美

**<事務局スタッフから一言> 山下 津貴子さん**

私は、会社を定年退職後、市関連の福祉協議会で、お手伝いをしている時にアメニティ 2000 協会の存在を知り、会員に応募したのが始まりです。

行事に参加させて頂いてる内に趣旨に一層共感し、この活動に、少しでもお役に立てればと考え、スタッフに加わる事にしました。この分野での、特別な知識を持合せている訳でもなく経験不足で、ご迷惑をお掛けしますが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。



**英国ナショナル・トラストの旅～スコットランド**

ダンケルドの村  
(村全体が NT)



クイーンズビューからの眺め